事業番号　　新規23-2

平成２３年行政事業レビューシート　（　警察庁　）

事業名	盗品情報の提供の在り方に係る調査研究	担当部局庁	生活安全局	作成責任者
事業開始・終了(予定）年度	平成23年度（単年度事業）	担当課室	生活安全企画課	生活安全企画課長 宮城　直樹
会計区分	一般会計	施策名	1　市民生活の安全と平穏の確保	
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ー	関係する計画、通知等	ー	
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	インターネットオークションや古物商を通じて盗品が流通している実態があることを踏まえ、インターネットを利用した盗品情報検索サービスの構築など、警察が保有する盗品情報の効果的な提供の在り方について調査研究を行うものである。			
事業概要 （5行程度以内。別添可）	インターネットオークション事業者へのヒアリングや古物商へのアンケートを実施し、盗品の流通状況等の実態調査や盗品情報の提供に関する要望等について調査する。また。インターネットオークション及び古物商の利用者に対するアンケートを実施し、古物商等の利用状況、取引を行う際不安なこと、これまでに起きたトラブル、どのような不正防止対策が必要か等について調査を行う。さらに諸外国では、盗品の流通を抑制する観点から、警察が保有する盗品に関する情報を用いた盗品検索サービス等を構築している例がみられることから、諸外国における当該サービスの実態調査を行うとともに、盗品流通防止に向けた有識者会議を3回開催し、今後導入可能な施策について討議する。			
実施方法	□直接実施　■業務委託等　□補助　□貸付　□その他			

予算額・執行額（単位:百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	ー	ー	ー	7	ー
	補正予算	ー	ー	ー	0	
	繰越し等	ー	ー	ー	0	
	計	ー	ー	ー	7	ー
執行額		ー	ー	ー	7	
執行率（%）		ー	ー	ー	99.5	

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
(成果目標) 警察が保有する盗品情報の効果的な提供の在り方についての報告書の取りまとめ (成果指標) 報告書数	成果実績	件	ー	ー	ー	1
	達成度	%	ー	ー	ー	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
盗品流通防止に向けた有識者会議の開催回数	活動実績 (当初見込み)	回	ー	ー	ー (　ー　)	ー (　3　)

単位当たりコスト	7,014千円／事業	算出根拠	総事業費

平成23・24年度予算内訳

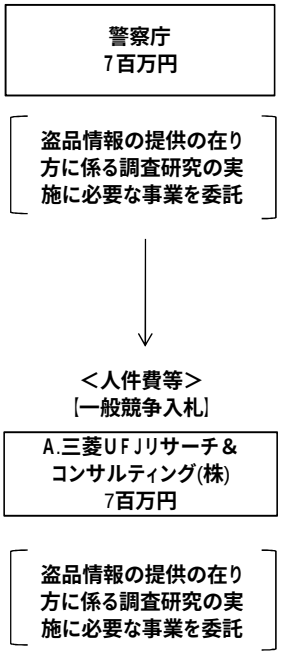
費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
人件費等	7	ー	
計	7	ー	

事業所管部局による点検			
	評価	項　　目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1　事業の執行に当たっての横断的見直し基準等の反映状況 予算については、横断的な見直し基準等を踏まえ、目的に沿った執行が行われ、警察庁が直接契約していることから支出先を把握しており、一般競争入札により競争性の高い調達を実施している。 2　執行面において明らかとなった課題と対応状況 特段の問題は認められない。 3　事業の成果目標 事業の内容に照らし、適切な成果目標が設定されている。		

予算監視・効率化チームの所見
1　支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。 2　改善策の内容及び横断的な見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。 3　レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）
特になし

補記　（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）
特になし

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株）

費 目	使 途	金 額（百万円）
人件費等	盗品情報の提供の在り方に係る調査研究	7
計		7

E.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

B.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

F.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

C.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

G.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

D.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

H.

費 目	使 途	金 額（百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ＆コンサルティング(株)	盗品情報の提供の在り方に係る調査研究	7	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					